

はなれていても

菅野百二さん(比曽 福島県伊達市在住)



百二さんと妻のアキノさん。素敵な布草履は百二さんの作品。

村では農家で、牛も1頭飼ってました。元は親の代からの桶屋でしたが、需要が下火になり、田んぼや畑を増やして農家になりました。私は子どもの時から田植え踊りが好きで、14歳から早乙女を踊りました。集落を回って、踊った後にはごちそうをいただいたり、どんなに疲れてもうれしかったですね。暮らしは楽ではなかったけれど、楽しい思い出がたくさんあります。

震災直後のことです。田んぼにいたら、向かいの牧草地にヘリコプターが不時着したんです。霧で方向が分からなくなったそう。食べる物もないと言うし、乗っていた4人を連れて帰りました。そしてたら操縦士を除く3人は、すぐに東京に帰らなければならぬとのこと。原発の様子を撮影に来たカメラマンだったので。ガソリンがなくて、山木屋までなら車で送り、3人はタクシーと鉄道を乗り継いで帰京。残った操縦士と私は酒を飲んで語り合いました。停電と断水の中ですね。そうした次の日、お礼にヘリコプターに乗

せると言うのです。燃料が心配だからいと断つても、どうしてもと言うので、乗せてもらって初めて故郷を上から見ました。その後は箕輪ホテルに二次避難し、松川第二仮設住宅に入居。避難の苦労はもちろんありましたが、応援の方にたくさん来ていただいたり、皆でグラウンドゴルフをやったり、楽しかったですよね。今は伊達市で息子夫婦と4人暮らし。よい所だけれど、山にいた人間には便利過ぎて、まだまだ慣れません。

毎月1日に、比曽の家に戻って、氏神様にお参りしています。箕輪に二次避難している間も欠かさず通いました。「家に帰る」と思うと、遠くも感じないものです。昨年は、3月の地震で伊達の家が修理が必要になり、3か月程、比曽の家に泊まっていた。比曽の家は、仏様の水もこぼれていなかったです。

今では仮設住宅で一緒だった人ともなかなか行き会える機会がありません。今年は敬老会ができると思います。皆さんと会えることを願っています。

子ども読書の日

4月23日は「子ども読書の日」です。交流センターには、絵本のかくれ家という素敵な絵本コーナーがあります。4月23日は日曜日ですが、午前9時から正午まで開館しますので、ぜひ遊びに来てください。



交流センター「ふれ愛館」だより 農業体験塾の料理教室

生涯学習課主催の「わくわく農業体験塾」では、細杉今朝代さん(前田)を講師に迎え、2月25日に料理教室を開催しました。参加した塾生7人の協体制はばっちり。キムチ、味噌飯、豚汁や漬物などを教わり、郷土料理に舌鼓を打ちました。

地域おこし協力隊 いたてDIARY

皆さん、お久しぶりです。松尾洋輝です。ここ最近はとても暖かくなりましたね😊

僕の任期も早いもので、あと9か月です。今後は、新たにキッチンカー事業を計画しております。

皆様には夏以降に、お披露目できるよう準備を進めており、最近、収支表をずっと作りながら頭を抱えていました🥲

販売する商品なども、徐々にSNSなどでUPしていく予定ですので、チェックしてみてください!

また冬季期間はお休みしていた、凶凶倉庫のカフェも4月から再開いたします!!

お時間ある方は、ぜひコーヒーを飲みにいらしてください! それでは、また!

Instagram QRコード: @HIROKI.MATSUO.1030

今月のライター 飯館村地域おこし協力隊 松尾 洋輝さん

おいしい飯館! までの食卓

生産者の皆さんにおいしい食べ方を聞いてみよう!

今回は特別編 いたて希望の里学園の児童生徒が手作りした凍み餅のアレンジメニューを紹介します。



菅野一代さん (比 曾)

特別な凍み餅をおいしいアレンジで希望の里学園の「しみじみマスタープロジェクト」に協力し、「食を考える会」で、凍み餅のアレンジメニューを考案しました。凍み餅は前日からたっぷりの水に浸し、水気を取って使います。郷土食としての伝統的な味わい方ももちろんですが、アレンジメニューも子ども達に大好評でうれしく思いました。

伝統的な砂糖醤油味のアレンジ。学園が交流する鹿児島県の学校から送っていただいた黒糖を使用しました。深い味わいが格別でした。



凍み餅入り ミニピザ

餃子の皮にピザソースをぬり、小さく角切りした凍み餅とサツマイモ、ミニトマト、茹でたあおばと豆をトッピング。チーズとパセリを乗せオーブントースターで3分焼きます。

餅の割れた部分も活用できるアイデアメニュー!



学園の調理室で試食会の準備をする会の皆さん。



黒糖の凍み餅